

佳作 私の人生の旅はまだ終わっていない。。。



マルセリナ モントリ
MARCELINA MONTORI
国 籍 インドネシア
職 種 介護
実習実施者 社会福祉法人緑陽会
監 理 団 体 協同組合ケアサポート瑞穂

ある日、学校で日本での介護の技能実習についての説明を聞いた。そこから私は日本で働くことに決めた。本当は大学に入りたいけど家族の財政を見てその欲求をあきらめなければならなかった。日本に行く為、ジャカルタで日本語を勉強する学校に行った。日本語を学ぶのは簡単なことではない。言語と文字からインドネシア語ととても違うからだ。だから友達の何人かあきらめてやめた。それでも私はやる気を下げなかった。日本に行ける為頑張って勉強をした。授業初日、ひらがなとカタカナの文字を覚えていたので最初の週の試験は満点だった。2週目と3週目の試験も同様だ。とても嬉しかった。でもそのせいで先輩みんなに嫌われた。私はとても悲しくて、やる気を失ってしまった。そこから成績が下がり始めた。成績が日ごとに下がっていたので先生が心配して、私と話をする為2人しかいないところに呼びかけた。そこで起こったことすべてを話した。先生が「他人があなたについて言う悪口を聞かないで。自分だけだ。起きて元気を出して、ここにきた本来の目的を思い出して」と言った。そこから私は気づき、再び頑張った。少しずつ成績が上がり、自信がついた。8ヶ月が経過し、

ようやくN3の試験に合格した。もちろんこの時点までは簡単なことではない。色々な問題に直面していた。いよいよ日本への出発日に到達した。2020年12月9日にジャカルタから出発し、翌日日本に到着した。今まで見たものとは違った新しい異国の雰囲気、ここにいることを夢見ているような気がした。職場に来る前にコロナウィルスの為2週間の自己検疫が必要だった。そしてその2週間後学校で日本語を復習した。まさに2021年1月12日、同僚のキキさんと日本にいる間私達が生活を続ける場に向けて出発した。喜び、恐れ、緊張の感情が一つに混ざり合っていた。富岡に着いた時まるで私達の到着を歓迎するかのように雪が降った。初めての雪だった。手のひらに冷たい雪を感じて嬉しかった。私の仕事の最初の日は翌日から始まった。ここで私の人生を彩る新しい人々と新しい雰囲気に出会った。元々異質だったことが今もう慣れていて、元々知らなかったことを知れるようになった。彼らが優しく教えてくれるし、私を元気づけるし、助けてくれた。ここでたくさんの良い人達と出会えたことにとっても感謝している。もちろん私の人生は高速道路のようにまっすぐ進むことはない。行き来する多くの問題でいつ行くのかわからないし、戻ってこないのもわからないけどそれが人生だ。楽しい時もあれば、悲しい時もある。良い時も悪い時も、それを受け入れなければならない。そうすれば私の人生が彩られるようになって、人生の意味を理解することができる。私の人生の旅はまだ長い。ここまでは私の旅の始まりに過ぎない。成功するまで自分の人生のプロセスを頑張っていきたい。